授業で「かかわり」を増やすための発言

【発表する時はまず，次の言葉を使って手をあげよう】

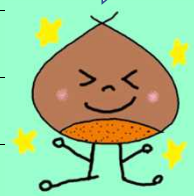
1	□	「はい」「それは」	1回だけ
2	□	「それに」	付け加え（つけくわえ）
3	□	「でも」	反対（はんたい）
4	□	「ほかに」	他の考え（ほかのかんがえ）
5	□	「だから」	その結果（そのけっか）
6	□	「まとめると」	まとめる

発表する時は，これらの言葉を使ってみよう！

【話すときには，次のような言い方を使ってみよう】

7	□	「〇〇だと思います。そのわけは…です。」	理由（りゆう）
8	□	「教科書の〇〇ページのここに書かれているように」	証拠（しょうこ）
9	□	「Ａさんの意見に賛成です。それは〇〇〇だからです。」（	賛成（さんせい）
10	□	「Ｂさんの意見に反対します。それは私は〇〇だと思うからです。」	反対（はんたい）
11	□	「質問します。どうして〇〇なのですか。私は．．．と思います。」	質問（しつもん）
12	□	「これとこれを比べると，こちらは〇〇ですね。でもこちらは〇〇です。」	比較（くらべる）
13	□	「〇〇さんが〇〇〇と言ったことに付け加えて」	付加（つけくわえ）
14	□	「〇〇さんの意見と良く似ているのですが，」	類似（にている）
15	□	「去年，〇〇の学習をしましたね。その時の関係と良く似ていると思います。」	関係付け(かこをつなげる)
16	□	「私は家で同じようなことをしてみたことがあるのですが，・・・」	関係付け(たいけんをつなげる)
17	□	「さいしょのＡとＢは同じでしたね。次にＡが２つふえていますね。・・・」	反応（はんのう）をたしかめる

【自分で授業をつくります。】

18	□	「わかりません。」
19	□	「もう一度説明してください。」
20	□	「考える時間をください。」
21	□	「聞かれていることがよくわかりません。」
22	□	「Ａチームを指名してください。」
23	□	「よくきこえません。」
24	□	「しつもんします。」
25	□	「Ａチームに発表させてください。まだ1回も発表していません。」
26	□	「時間をください。チームで話し合わせてください。」

「分かりません。」と言える学級を作ろう！